



2610地区

Monthly report

上市ロータリークラブ

会長 中村 智雄 副会長 谷口 伸示 幹事 藤縄 雄 会長エレクト 新野 景三

2005～2006

超 我 の 奉 仕

5 月 阜 月 (さつき)

2006.5.10 第1290回例会

■開会点鐘

■幹事報告

FOPの難病指定運動の署名について

「進行性化骨筋炎」=「FOP」を特定
疾患の対象疾患に指定（難病指定）

■山本委員長（雑誌・広報）

横組み

*RI指定記事

- ・バーチャル・ロータリーEクラブは本当のロータリー？ P26-28
- ・Eクラブって何 P29

*基本の樹

- ・クラブの例会 P30-31

*米山だより

- ・ロータリー米山奨学事業の宝物シリーズ
受刑者に新しい人生 P32-33

縦組み

*豊かなクルマ社会をめざして P2-6

- ・トヨタ自動車（株）
取締役社長 渡辺 捷昭

*卓話の泉 P12-13

- ・甲子園球場誕生
- ・青年会議所の活動
- ・前立腺の話

■ニコボックス

水野 昇平君 瑞寶雙光章受章して

■出席報告 24/26 92.30%

■クラブ・フォーラム 「地区協議会報告」

*職業奉仕部会 片山次期委員長代理



・2006年～2007年度運営方針

「一人ひとりの会員が、地区で、クラブで
率先し楽しく奉仕活動をする」

具体的項目

- 1、四つのテストを例会場と職場に掲げるようにする。
- 2、高い職業倫理観の自覚を促す例会を2回実施する。
- 3、会員が中学校や高等学校へ行き職業に関する出前授業を行う。

上市ロータリークラブは四つのテスト、綱領の唱和は既に実施済みであり、他のクラブよりも進んでいると感じました。

*社会奉仕 新世代部会 早川次期委員長



例会日 (水) 12時30分 例会場 ウェルハートピアつるぎ

事務局〒930-0361中新川郡上市町湯上野1 (TEL 472-6333)

「基本的な考え方」

Lead The Way「率先しよう」はまさしく社会奉仕の基本的なスタイルである。

地域社会のニーズを汲み上げ、ロータリーとしていかに継続事業として取り組んでいくかが重要である。個人生活、事業生活、社会生活において、社会奉仕の理想を追求し、育成することが大切である。

「基本的な方針」

- 1、社会奉仕の4つの委員会（人間尊重地域発展、環境保全、共同奉仕）の役割を再確認し、各地域毎の社会奉仕活動の、継続について検討する。また、新規事業についても積極的に考えよ。
- 2、水質保全是、地球的規模での緊急テーマであることを認識するための勉強会を、委員長会議の機会に開催してみてもどうか。
- 3、地区補助金（DSG）活用。
（ローターアクト委員会）
 - ・日本にローターアクトが出来て30年以上経ち、放任になっていないか。
 - ・RCの執行部・RA委員長がローターアクトの活動内容を把握出来ているか。
 - ・会員増強をアクトに任せきりではないか、RCからの推薦が是非とも必要。RCAを提唱していないRCからも、会員の推薦をお願いしたい。
 - ・第19回全国ローターアクト研修会が2007年2月24日（土）～25日（日）に金沢市にて行われます。当地区がホストなので各クラブ会長・幹事登録必要である。（社会奉仕委員会）・新事業に対して地区より助成金（総額180万円）がでるのでガバナーエレクト事務所へ申込みローター財団委員長が判断する。
 - ・次年度は環境保全「水」について取り組み、環境も、規模も違うのでそれぞれのクラブで考え取り組んでほしい。

* 国際奉仕部会 伏黒次期委員長



- ・「恩義の重さ」と題しての話し
五月女（外務省参与NGO担当大使）

ニューヨーク総領事館に勤務していた二十数年前。現地のユダヤ人協会代表でラビ（ユダヤ教指導者）のシュナイヤー師が、ある問題で日本政府へ抗議に来た。ひとしきり話を終えた師は突然「本当は来たくなかった。日本には恩義があるのです」と切り出した。驚く私に、師は炎々と自身の過去を語り始めた。実は第二次大戦の際、ナチスドイツの迫害を逃れてポーランド・リトアニア・ロシア・ウラジオストックから海路福井県の敦賀や神戸を経て日米開戦直前に渡米したのだった。

リトアニアといえば、総領事館閉鎖まで多くのユダヤ人に日本通過ビザを発給した杉原千畝氏ゆかりの地。師もその時の一人だった。

敦賀では地元住民から炊き出しの温かいもてなしもうけたという。師は「我々はこの恩を忘れない。五千年後の子孫も必ず覚えている」と話された。実際、阪神大震災の際には協会から日本に多額の義援金を送って頂いた。

日本は戦後、多くの国々から支援を受け、復興を成し遂げた。果たして今、その恩義に報い、国としての品格を保っているのか。師の面影を思い出すたび、自問している。

* 総括報告 新野会長エレクト

- ・地区協議会報告



4月23日高岡法科大学に於いて、2006～2007年度のための地区協議会が開催されました。当日は肌寒い日でありましたが当日の参加者は、137名の登録で次年度の会長、幹事、会計、各委員長が集い、熱気溢れる協議会であった。

全体会議では、荒井ガバナーエレクトがビル・ボイドRI次年度会長の基本方針説明があり、次いで地区運営方針の説明や会員への期待、要望がされた。この内容については、先に私がPETSでの報告のとおりである。

私と島倉君と参加した会長幹事会計部会では、ほぼ全体会議と同様な基本方針説明と予算の承認が主なものであった。

質疑応答で白山RCと南砺RCからロータリーアクトクラブの運営助成費が苦しく地区委員

会拠出金の増額要求があり、一時紛糾しましたが、菊地ガバナー、荒井エレクトから、アクトを擁するクラブの問題であり、クラブで処置するものであるとの明快な回答があった。

地区大会はどちらかといえばお祭りのところがあるが、地区協議会は次年度の勉強会であり最後に全会員が「手に手つないで」を合唱し閉会した。

2006.5.17 第1291回例会

■開会点鐘

■結婚・誕生祝

5月20日 細川和子さん御結婚記念日

5月21日 藤縄 雄さん御結婚記念日

5月23日 高橋建一さん御結婚記念日

■幹事報告

- ・6月21日（水）は宇奈月で夜間例会となります。（集合場所上市駅前17時30分）
- ・寄贈救急車はポリビア国家警察へ行き活躍しています。

■ニコボックス

細川和子さん 結婚祝いを頂いて

藤縄 雄さん 結婚祝いを頂いて

高橋建一さん 結婚祝いを頂いて

■出席報告 22/26 84.61%

■クラブ・アッセンブリー

「クラブ運営の個別的事項」

新野会長エレクト



1、会員組織委員会

- ・新入会員4名（前期2名、後期2名）の増強。
- ・未充填職業分類表の見直しの実施。
新分野からの新入会員で会員の多様性を図る
- ・IDMを2回以上開催する。

2、クラブ広報委員会

- ・会報は月1回、毎月第一例会に配布。
- ・「ロータリーの友」の事前内容説明をする。
- ・報道機関との連携を深め、ロータリー活動をPRする。

3、奉仕プロジェクト委員会

- ・職場訪問をし、経営者から高い職業倫理観の自覚を促す話を聞く。（職業奉仕）
- ・優良従業員の表彰を実施。（職業奉仕）
- ・プロパスクラブの創設・提唱と推進
（社会奉仕）

- ・丸山運動公園での記念植樹の継続実施。
（社会奉仕）

- ・青少年（中学生）とのパークゴルフ大会の実施。（青少年奉仕）

- ・ボーイスカウトと河川清掃の実施。
（青少年奉仕）

- ・カンボジア学校建設資金の寄付継続。
（国際奉仕）

- ・ロータリー米山奨学会への寄付。
（国際奉仕）

4、ロータリー財団委員会

- ・年次寄付一人100ドルの寄付とベネファクター一人目標。

5、クラブ管理委員会

- ・CLPの研究と実施。
- ・出席率の向上。（85%以上目標）
- ・100%皆出席者の表彰。
- ・ニコボックスは、出席小委員長が担当。

*ガバナー訪問は10月4日

*地区大会は10月21日・22日

（ホストクラブは小矢部RC）

（コ・ホストクラブは小矢部中RC）

2006.5.24 第1292回例会

■開会点鐘

■ゲスト紹介

四ツ葉園施設長 牧野 武様

■ビジター紹介

小矢部ロータリークラブ 白井中 様

小矢部ロータリークラブ 三可重雄様

■誕生祝

5月26日 住吉聖雲さん御結婚記念日

5月28日 碓井敏彦さんの奥様恵子さんの
誕生日

5月30日 畠平愛子さん御結婚記念日

■ニコボックス

- ・小矢部ロータリークラブより地区大会の参加のお願い
- ・住吉聖雲さん結婚記念のお祝いを頂いて
- ・碓井敏彦さん妻の誕生祝いを頂いて
- ・畠平愛子さん結婚記念のお祝いを頂いて

■出席報告 22/26 84.61%

■卓話 四ツ葉園施設長 牧野 武様

演題「ノーマライゼーション」

明治24年農尾地震孤児となった障害を持つ子等を守り育てるために作られた滝野川学園

が我が国最初の障害孤児施設です。その後、先の大戦とその後の高度成長期を経て、施設が整備され、障害者の自立に向けていろいろな取り組みも進みました。昭和40年代には「保護と訓練」そして「親亡き後保障」を目指して施設やコロニーが各地で建設されました。そのことが、少なからず障害者は施設で暮らすことがあたりまえという、本人達の思いとは違った方向に合わせた面があったように思います。昭和51年「障害者との共生」を目指すノーマライゼーションの理念のもと、障害者の社会参加を促進する活動が求められるように、障害や障害者に対する地域の人々の理解、そして、何よりも障害者の「思い」を受け止める心が育たなければなりません。そのため、四ツ葉園でも、一人暮らしのお年より宅の除草や、交通安全の祈りを込めたマスコット作り等地域社会の一員として役割を果たせる存在であることを認めてもらいたいと頑張ってる。そんな彼らの自立への思いを応援してください。



2006.5.31 第1293回例会

■開会点鐘

■誕生祝

6月5日 片山浩之さんの御結婚記念日

- 委員会報告 新野会長エレクト
- 会員候補者 山本 靖様 (上市町教育長)
- 会員候補者 広田 睦様
(いであ(株)北陸営業所長)

二人の紹介がありました。

■ニコボックス

神谷様 (卓話お礼金)
片山浩之さん結婚祝いを頂いて
碓井敏彦さん結婚祝いを頂いて

■出席報告 24/26 92.3%

■卓話 総務課長 神谷 育雄様 演題「自主防災」について

私達は、近年、多くの災害を経験し、特に、平成16年10月23日の新潟県中越地震は、災害はいつ、どこで、どのように発生するのか、

日々、その対応が必要であることを再認識させられました。

町では、「地域防災計画の見直し」と国民保護計画の策定を進めており、地震ばかりでなく豪雪などの被災地の状況や復興状況について、調査、研究し、より実践的な計画になるよう努力しております。

中越地震から学ぶべき事例として、まず「地元住民による自主防災活動」です。行政だけでは対応しきれない事案について、地域の自助・共助が重要であります。

次に、「早期のライフラインの復旧」です。住民の皆様へ安心感を持っていただくためにも、ライフラインに対する迅速な対応が最も必要であると考えます。

我が富山県を見てみます、江戸時代末期(1858年)の「跡津川断層」が原因の飛越地震以降、発生しておりません。いわゆる安政の鳶崩れの大災害ですが、県下には、呉羽山断層をはじめ多くの活断層が確認されており、今後、「地震は起こらない」とは断言できないと思います。

このような災害はいつ、どこで発生するかは予測出来ないものであり、それだけに平常時における備えが重要となってまいります。町民の皆様のご理解を頂き、現在組織率100%となっております自主防災組織の充実を図ることが必要であり、災害発生時に直接活動していただく消防団員の確保とともに大きな問題であると認識しております。今後は、訓練などを通じながら、「我が区域は我が手で守る」を基本に、活動していただきたいと思えます。最後に、町全体で災害等に対する危機意識を共有し、自らを守る「自助」お互いに助け合う「共助」公共機関等による「公助」の連携強化を図ることが最も大切であり、かつ、最良の方策であると確信しております。安全・安心を第一とした「存在感あふれる上市」の実現に皆様の御協力をお願いします。

